

新技術・新分野創出のため
の基礎研究推進事業

平成 15 年 2 月 19 日
農 林 水 産 省

新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業 (実施法人:生物系特定産業技術研究推進機構)

事業の概要

趣旨

生物機能を高度に利用した新技術・新分野を創出するため、幅広く提案を公募し、基礎的・独創的な研究を実施。

対象研究分野

生物機能解明・生産力向上分野
高機能・高品質食品分野
生物系素材分野
生物機能利用による環境改善分野
装置開発・ソフト開発等の共通基盤に関する研究分野
工学・環境学的手法による生物機能向上分野

研究期間：原則3～5年

1課題当たり研究費：原則9,500万円

14年度採択分より間接経費(30%)を含む

平成15年度概算決定額：39.8億円

運用の実態

単価の柔軟な運用

1課題当たり単価は、原則として年間9,500万円だが、研究内容・計画に応じて弾力的に運用。

研究期間の柔軟な運用

原則として3～5年間だが、研究内容により6年間まで可能。

スキーム図

農林水産省
【農林水産技術会議事務局】

補助金

生物系特定産業技術研究推進機構

学術雑誌等を通じた事前案内、試験研究機関・大学等への応募要領送付、新聞等による募集等。

生研機構内に学識経験者で構成された課題選考委員会が一次選考(書類選考)、二次選考(面接選考)。

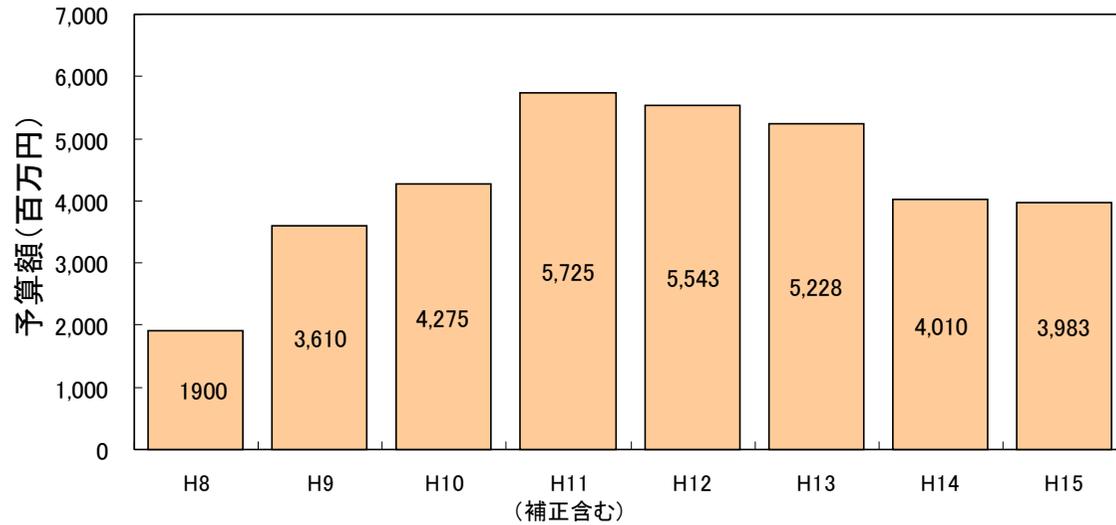
独創的で農林水産業の新技術・新分野の創出に大きく貢献が見込まれる課題を厳選して採択。
(委託・共同研究契約)

制度の改革

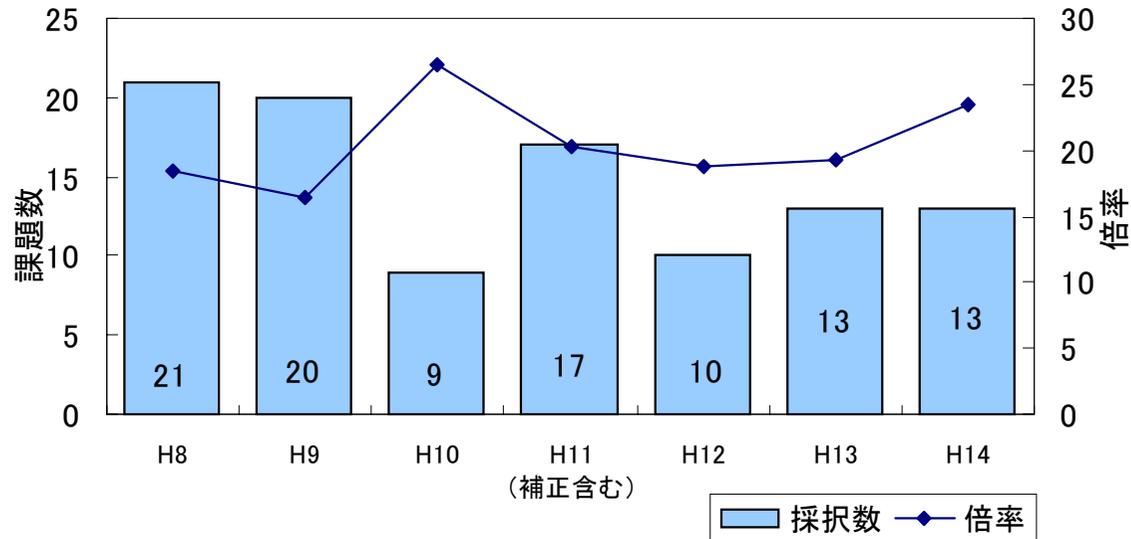
- 間接経費の導入
- プログラムオフィサーの配置
- 課題申請書様式の統一化
- 関係省庁間での課題の重複調整の実施
- 繰越明許の実施

実施状況

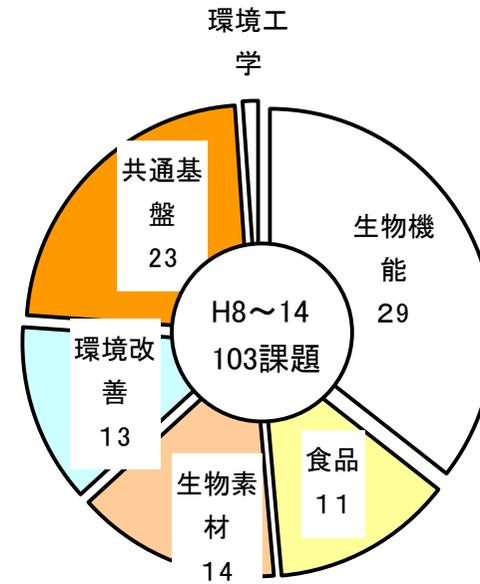
予算額推移



採択課題数推移



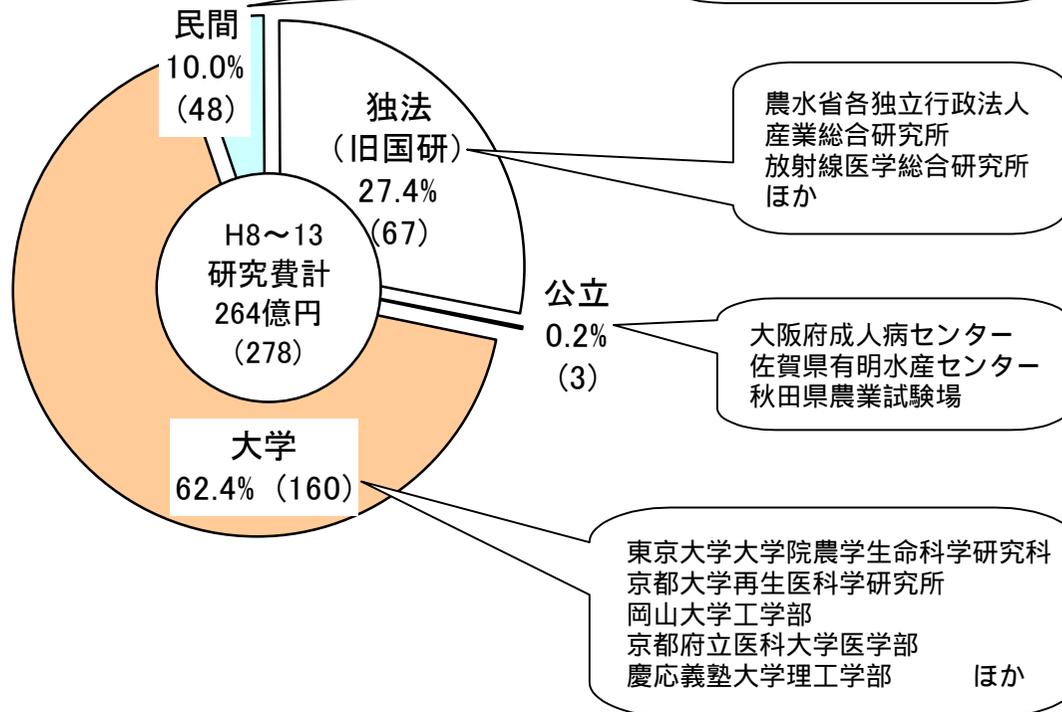
分野別内訳



- 生物機能：生物機能解明・生産力向上分野
- 食品：高機能・高品質食品分野
- 生物素材：生物系素材分野
- 環境改善：生物機能利用による環境改善分野
- 共通基盤：装置開発・ソフト開発等の共通基盤に関する研究分野
- 環境工学：工学・環境学的手法による生物機能向上分野

実施状況

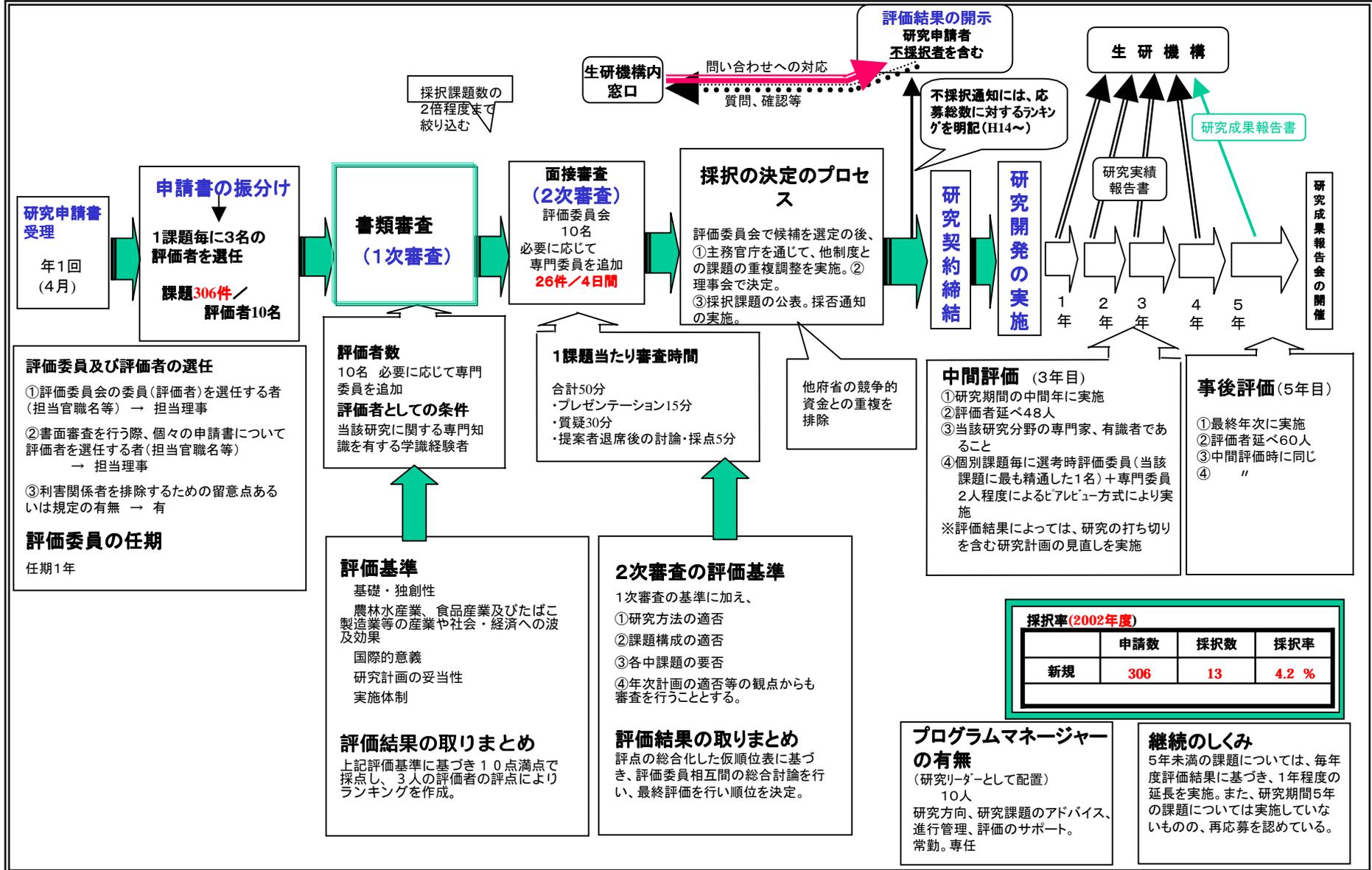
実施状況
(カッコ内は中課題ベースの課題数)



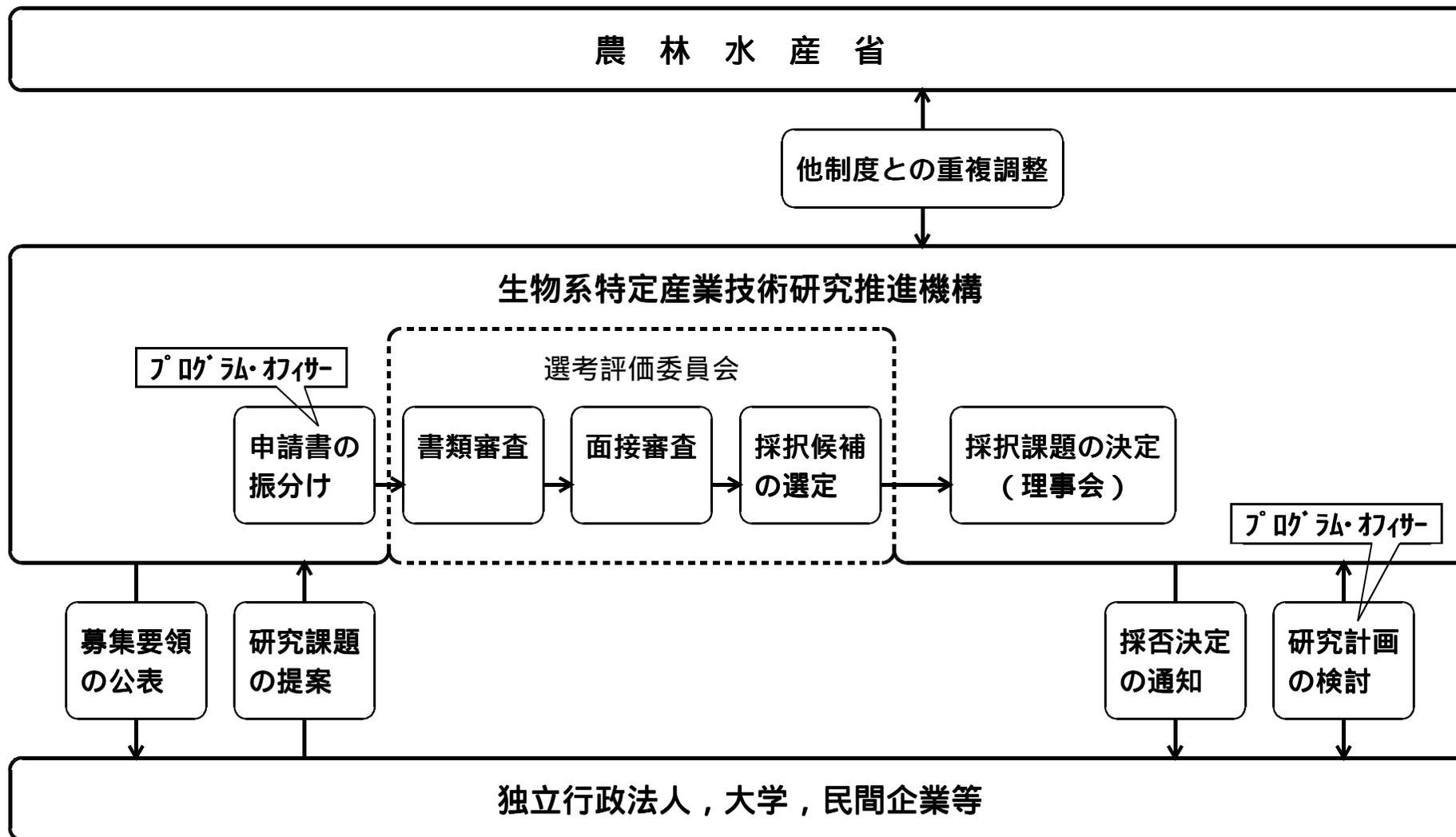
特許数等一覧
(H8~13までの累計)

特許出願	国内	137
	海外	87
論文	国内	1,429
	国際	3,102
口頭発表	国内	5,297
	国際	2,280

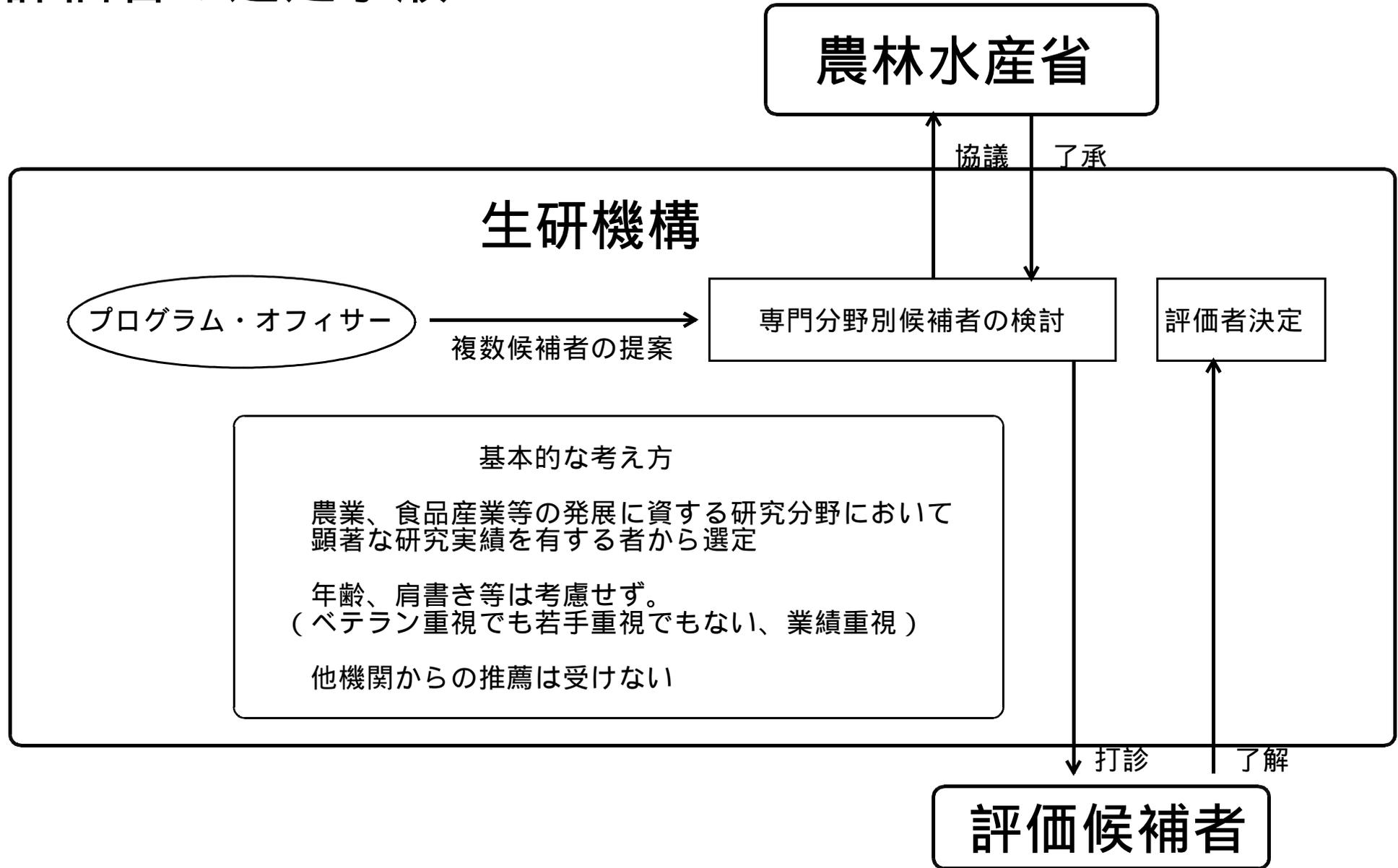
生研機構のグラント審査システム(新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業)



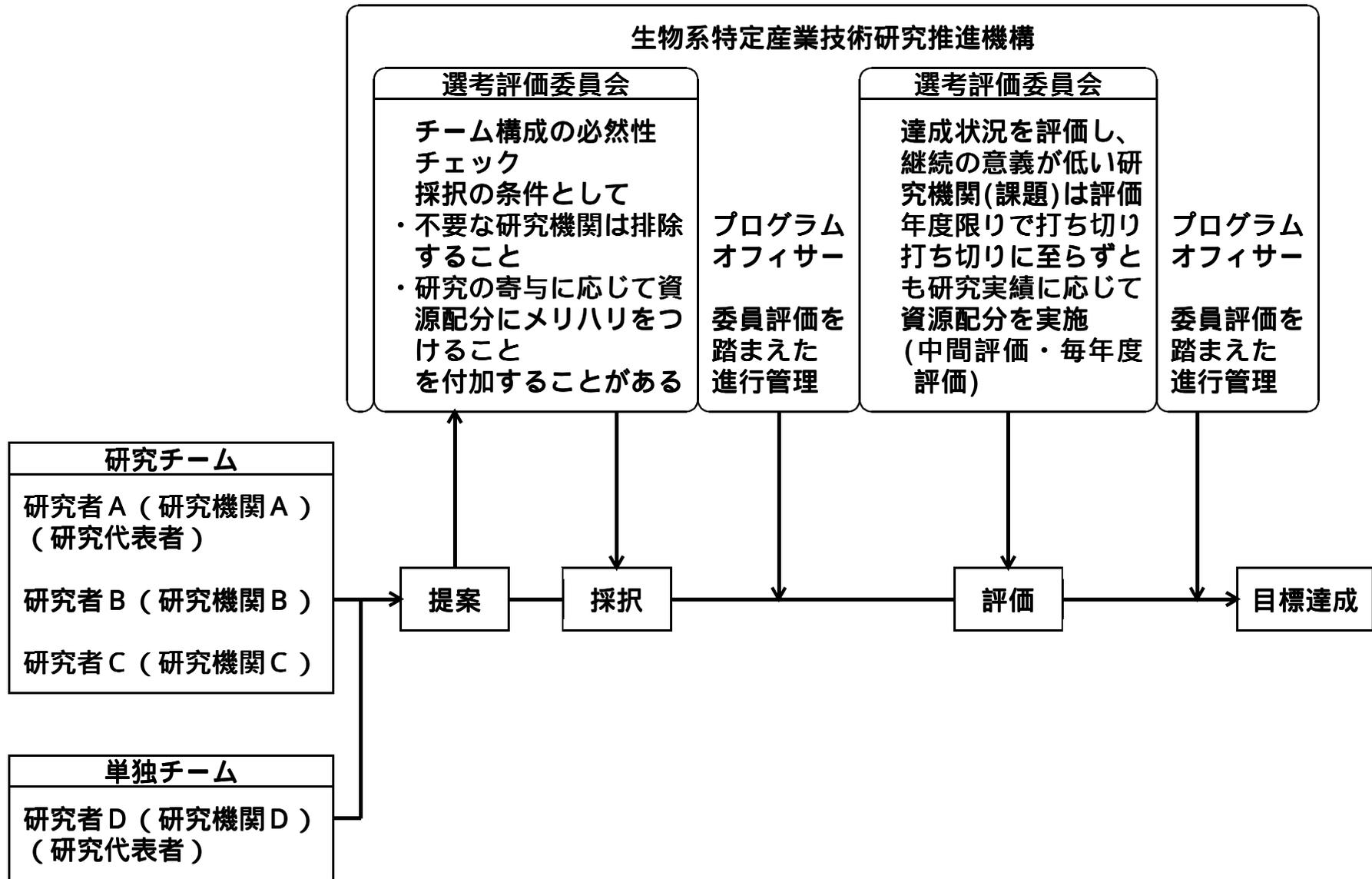
公募テーマの決定手順



評価者の選定手順



グループ研究のチェック（新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業）



**新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業
標準的な年間スケジュール**

生物系特定産業技術研究推進機構

月	新規課題	継続課題
4	募集開始（4月1日） 募集締切（4月30日）	委託研究契約締結 資金交付
5	書類審査	
6	ヒアリング審査	
7	採択候補課題決定（選考・評価委員会） 採択候補課題の各省庁協議（重複調整） 採択課題審議・決定（理事会）・通知	資金交付
8	採択課題公表 研究計画ヒアリング （選考・評価委員及びプログラムオフィサーが聴取）	中間評価に係る現地検討会（3年目の課題を対象に実施、プログラムオフィサーによる指導助言）
9		↓
10	委託研究の契約締結 資金交付	現地調査を踏まえた中間評価ヒアリング （3年目の課題が対象、選考・評価委員のうち課題担当及びピアレビューメンバーが聴取） 資金交付
11		↓
12		
1	資金交付	中間評価結果の決定（選考・評価委員会） 資金交付
2	次年度研究計画ヒアリング （プログラムオフィサーが聴取） 毎年度評価（書類評価）	次年度研究計画ヒアリング （全課題が対象、プログラムオフィサーが聴取） 毎年度評価（中間評価以外の課題が対象）
3	次年度募集要領の公表	成果発表会（終了年次課題） 事後評価（終了年次課題）

「新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業」
平成14年度選考・評価委員会委員名簿

H 1 5 . 2 . 1

委員長	鬼 頭 誠	京都大学名誉教授
副委員長	原 田 宏	筑波大学名誉教授 山形県農業研究研修センター総長
	石 川 統	東京大学名誉教授 放送大学教授
	磯 貝 彰	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科教授
	魚 住 武 司	東京大学名誉教授 明治大学農学部教授
	小 川 眞	関西電力株式会社顧問 生物環境研究所所長
	唐 木 英 明	東京大学農学部教授
	小 林 猛	名古屋大学遺伝子実験施設長
	小宮山 宏	東京大学大学院工学系研究科教授
	山 内 一 也	東京大学名誉教授 日本生物科学研究所理事・主任研究員
専門委員	品 川 森 一	帯広畜産大学畜産学部教授

応募書類の作成・記入要領

- 1 応募に必要な書類は、以下のとおりです。

年度新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業

- 研究課題提案書（様式 1）
- 応募研究課題の概要（様式 2）
- 応募研究課題の内容（様式 3）
- 研究チームの構成（様式 4）
- 研究者の経歴等（様式 5）
- 研究実施場所、使用する設備等（様式 6）
- 研究予算総括表（様式 7）
- 所属する研究機関の長の承諾書（様式 8）

また、研究チームの構成が複数の研究機関にまたがらざるを得ない場合には、研究全体を総括する者を定め、当該研究代表者が全提案書類を一括して提出して下さい。

その際、各研究機関毎に上記 ~ の書類を作成するとともに、研究代表者は次の ~ の書類を作成し、~ の書類を上にして提出して下さい。

- 応募研究課題の概要（全体）（様式 9）
- 研究チームの構成（全体）（様式 10）
- 応募研究課題の内容（全体）（様式 11）
- 研究の実施体制（全体）（様式 12）

提出の際には、上記 ~ の書類のほか、参考資料、提出書類チェックシート（別記 1）及び受領確認用はがき（別記 2）も併せて提出して下さい。

- 2 提出書類はすべて A 4 版とし、通しページ（各様とも中央下）を付して下さい。なお、研究チームの構成が複数の研究機関にまたがる場合には、個別の通しページではなく、全書類の通しページを付して下さい。
- 3 提出書類は 8 部（正本 1 部、副本 7 部）提出して下さい。両面コピーでの提出は認められません。
なお、提出書類の作成に当たっては、8 部とも別記 3 にしたがって、左上角 1 カ所をホチキスまたはクリップ等で留め、左側に 2 カ所パンチで穴を開けて下さい。
また、書類の提出にあたっては、提出書類を梱包する袋等に「一般型」と朱書きして下さい。
- 4 提出書類は日本語で、ワープロ又は楷書の手書きにて作成して下さい。
- 5 様式 1 ~ 1 2 及び別記 1 については、当機構ホームページ（URL <http://www.tokyo.brain.go.jp>）にてダウンロードできます。

(様式1)

本提案が該当する研究分野を 印で囲んで下さい。

生物機能解明・生産力向上分野	高機能・高品質食品分野	生物系素材分野	生物機能利用による環境改善分野	工学・環境学的手法による生物機能向上分野	共通基盤に関する研究分野

さらに本提案の研究対象を 印で囲んで下さい。

植物	動物	昆虫	微生物	食品	工学・環境	その他(具体的に記入)

この欄は、記入しないで下さい。

一般型
受付年月日
受付番号

年度
新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業
研究課題提案書
(一般型)

生物系特定産業技術研究推進機構理事長 堤 英隆 殿

年 月 日

研究課題名			
フリガナ 研究代表(分担)者 氏名	印		
生年月日	年 月 日	年齢	歳
役職	学位		
所属研究機関名			
所属部署名			
所属機関種 (右から番号を選択し、記入してください)	番号:	1. 国立大学(含む大学共同利用機関) 2. 公立大学 3. 私立大学 4. 短期大学・高等専門学校 5. 国立試験 研究機関 6. 公立試験研究機関 7. 独立行政法人 8. 特 殊法人・認可法人・公益法人 9. 民間機関 10. その他	
所在地	都道府県名:	〒	
電話等	電話:	FAX:	E-mail:
研究予定期間	年10月1日 ~ 年3月31日 (合計 年間)		
研究費(概算)	百万円 (うち 年度 百万円)		

(様式2)

応募研究課題の概要

研究課題名	
1. 研究の要旨 (5行以内で簡潔に記入して下さい。)	
2. キーワード (本提案のキーワードを5つ以内記入して下さい。)	
3. 研究の概要 (研究の目的、実施方法、関連産業・社会への波及効果等について、本葉 1ページの範囲内で簡潔に記述して下さい。)	
4. 他の制度からの助成等の有無 (含む申請中) (研究代表者が中心になって研究を実施しているもので、現在別の研究助成 制度 (科学研究費補助金、科学技術振興調整費、他の特殊法人等の補助金等 による基礎研究推進制度、農林水産省のプロジェクト研究等) による助成を 受けているか、申請中の研究課題があれば、助成等の制度名、具体的研究テ ーマ名、研究期間、金額を記入して下さい。なお、 <u>正しい報告が行われなか った場合は、選定されても取り消すことがあります。</u>)	
5. 他の競争的資金から助成を受けた研究開発課題の成果 (本応募研究課題と関連があ る場合。競争的資金名、研究開発課題名、得られた知見等について、5行以内で簡潔 に記入して下さい。)	

(様式3)

応募研究課題の内容

研究課題名	
	<p>1. 研究目的 〔 生物系の産業における新技術・新分野創出のための基礎研究という観点から、研究の目的及び必要性、達成しようとする目標等について記載。 〕</p> <p>2. 独創性・新規性・革新性・先導性 〔 研究内容、着眼点、研究手法等に関して、当該研究のもつ独創性、新規性等について記述。 〕</p> <p>3. 国際的な視野からみた研究開発水準 〔 関連分野の国内外の研究の動向、特に最先端の研究の実施状況及び最近の大きな研究成果等について記載。 〕</p> <p>4. 研究計画・方法 〔 研究の年次計画、具体的な研究手法等について、必要となる機器・設備との関連も含めて記載。 〕</p> <p>5. 目標とする成果 〔 研究の全体計画、年次計画等について、各段階における研究の具体的達成目標を示し、必要に応じてフロー図等を添付して記載。 〕</p> <p>6. 農林水産業、食品産業及びたばこ製造業等の産業や社会・経済の発展に対し期待される具体的な波及効果 〔 研究により期待される成果が、標記の産業や社会・経済に及ぼす波及効果について、具体的な例をあげて記載。 <u>単独の研究機関で提案する場合のみ、この項目は記載下さい。複数機関にまたがるチームの中の個別機関の研究課題の場合、記載は不要です(様式11(全体)の項目6への記載は必要です。)</u> 〕</p>

注1：研究課題の総括説明として記入して下さい。

2：複数機関にまたがるチームの中の個別機関の研究課題について記入する場合は、様式11の「応募研究課題の内容(全体)」との重複記述をできるだけ避け、当該機関が担当する研究課題の位置づけを明確にするよう留意下さい。

3：本資料は、全体でA4版3ページ以内(添付図を含む。)として下さい。

(様式4)

研究チームの構成

研究課題名		
(記入例)		
研究代表(分担)者		
田 夫(独立行政法人	研究所	部 研究室長)(エフォート: %)
├──	に関するゲノム解析	担当: 山 子 (研究室主任研究官)
├──		川 郎 (研究室研究員)
├──	に関する機能解析	担当: 谷 一 (研究室研究員)
├──	に関する立体構造の解析	担当: 山 美 (研究室研究員)

- 注1: 各研究チームの分担関係が明確になるように記入して下さい。
- 2: 未定のものであってもかまいませんが、現在想定される研究チームの構成について記入して下さい。
- 3: 研究代表(分担)者には 印を付けて下さい。
- 4: 印のつく研究代表(分担)者のみ、エフォート(研究専従率のこと、年間の研究のための仕事時間を100%とするときの本提案の研究に必要な時間の配分率、%で表記。)を所属の後に記載してください。
- 5: 他の機関から派遣されている研究者には (他)印を付けるとともに所属を明記下さい。

(様式5)

研究者の経歴等

研究課題名		
1. 研究者氏名(フリガナ)		
2. 所属機関及び役職名		
3. 生年月日		
4. 学位 (1) 機関名 (2) 学位 (3) 取得年 (4) 専攻		
5. 研究経歴		
年 月	職 名	研 究 歴
(記入例) 年 月	大学 研究所 研究員	タンパク質の機能に関する研究(タンパク質の機能発現には、遺伝子が関与していることを発見)
6. 受賞歴、表彰歴		
7. 研究成果等		
(1) 研究論文数	編(和文[国内]誌	編、欧文[国際]誌 編)
(2) 著書(ビュー)数	編	
(3) 特許出願件数	件	
(4) 最近5か年間の主な研究論文、著書及び特許(主要なものを各10件以内) (著者名、発表論文・著書、掲載誌、巻号(最初と最後のページ)、発表年) (4)は別葉に記入して下さい。		

注1: 研究代表(分担)者についてのみ作成して下さい。

2: 5の研究経歴については、これまで研究されてきた事項を記入するとともに、各事項毎に、主な成果について()書きで簡潔に記入して下さい。

3: 7の(4)については別葉とし、最近5か年間に学術誌等に発表された主な論文(原著論文を対象とします。)、著書及び特許のうち、主要なもの各10件以内について、現在から順に発表年次を過去にさかのぼって記入して下さい。

なお、本提案課題に関連する論文等の番号に 印を付けるとともに、当該研究者の名前にアンダーラインを付して下さい。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略(省略する場合、その員数と、掲載されている順番を 番目と記入)しても可。

(様式6)

研究実施場所、使用する設備等

研究課題名	
研究実施場所	特定のフィールドを設定して研究する場合には、当該フィールドの所在地を()書きで記入して下さい。
本研究で使用する主な機器設備等	既に使用しており、本研究でも継続して使用可能なもの
	新規に購入する必要のあるもの(購入予定価格500万円以上の機器等について記入して下さい。)

(様式7)

研究予算総括表

研究課題名	
-------	--

(単位：百万円)

費目	見積金額	簡単な積算内訳
1. 備品費 2. 人件費 (・組織自ら雇用するポスト等) 3. 賃金 (・パート等の雇用) 4. 再委託費 5. 雑役務費 (・派遣会社を通じたポストの確保 ・外注分析等) 6. 国内旅費 7. 外国旅費 8. 消耗品費 9. その他経費	(例) 7.2	(例) 0.6 × 2人 × 6ヶ月 印刷製本費 通信運搬費 謝金 外国人研究者招聘経費 借料及び損料 光熱水料 付帯事務処理費
直接経費計		
間接経費 (直接研究費 × 0.3)		
合計		

注1：2003年度のおおまかな研究予算について、記入して下さい。

2：研究代表(分担)者の所属する機関が「間接経費」を受ける場合は、直接研究費合計額の30%の金額を間接経費欄に記入してください。所属機関が間接経費の受入が不可能な場合は、所属機関の規程に従った研究管理費を「付帯事務処理費」として計上することができます。所要額をその他経費の内訳として、付帯事務処理費の欄に記入してください。なお、間接経費と付帯事務処理費の両方を計上することはできません。

(様式8)

承 諾 書

平成 年 月 日

生物系特定産業技術研究推進機構理事長 堤 英隆 殿

(住所) 県 市

(機関名) 研究所

(代表者) 代表者氏名 印

2003年度「新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業」の研究課題募集に対し、当機関(研究所)の職員が、下記により応募することを承諾いたします。

記

1. 提案研究課題名 (様式1の研究課題名を記入)

2. 研究者氏名 (研究代表(分担)者の氏名のみ記入)

(様式9)

本提案が該当する研究分野を 印で囲んで下さい。

生物機能解明・生産力向上分野	高機能・高品質食品分野	生物系素材分野	生物機能利用による環境改善分野	工学・環境学的手法による生物機能向上分野	共通基盤に関する研究分野

注：複数分野にまたがる場合には、全体を代表する分野を で囲んでください。

さらに本提案の研究対象を 印で囲んで下さい。

植物	動物	昆虫	微生物	食品	工学・環境	その他(具体的に記入)

この欄は、記入しないで下さい。

一般型
受付年月日
受付番号

応募研究課題の概要(全体)

研究課題名(全体)	
フリガナ 研究代表者氏名	
所属機関・部署名	
所在地・電話	〒 - TEL :
1. 研究の要旨(5行以内で簡潔に記入して下さい。)	
2. キーワード(本提案のキーワードを5つ以内記入して下さい。)	
3. 研究の概要 (研究の目的、実施方法、関連産業・社会への波及効果等について、本葉 1ページの範囲内で簡潔に記述して下さい。)	

注：本様式が一番上になるよう、書類をセットして提出して下さい。

(様式10)

研究チームの構成（全体）

研究課題名（全体）	
研究代表者	
研究期間	年 月 日 ~ 年 3月31日（合計 年間）
研究費総額	百万円（うち 年度 百万円）

課 題 1	研究課題名	
	フリガナ 研究分担者	(年齢: 歳) [エフォート: %]
	所属機関・部署 名(所属機関種)	[所属機関種番号:]
	研究費(概算)	百万円（うち 年度 百万円）
課 題 2	研究課題名	
	フリガナ 研究分担者	(年齢: 歳) [エフォート: %]
	所属機関・部署 名(所属機関種)	[所属機関種番号:]
	研究費(概算)	百万円（うち 年度 百万円）

・
・
・
・
・
・
・

注1：課題1、課題2・・・は、同一研究機関に所属する研究者で構成する研究チーム毎に記入して下さい。（各研究チーム毎に作成する様式1～8と対応させて下さい。）

2：所属機関種番号は様式1の所属機関種番号を記入してください。

(様式11)

応募研究課題の内容(全体)

研究課題名(全体)	
1. 研究目的・社会的及び技術的背景 〔 生物系の産業における新技術・新分野創出のための基礎研究という観点から、研究の目的及び必要性、達成しようとする目標等について記載。 〕	
2. 独創性・新規性・革新性・先導性 〔 研究内容、着眼点、研究手法等に関して、当該研究のもつ独創性、新規性等について記述。 〕	
3. 国際的な視野からみた研究開発水準 〔 関連分野の国内外の研究の動向、特に最先端の研究の実施状況及び最近の大きな研究成果等について記載。 〕	
4. 研究計画・方法 〔 研究の年次計画、具体的な研究手法等について記載。 〕	
5. 目標とする成果 〔 研究の全体計画、年次計画等について、各段階における研究の具体的達成目標を示し、必要に応じてフロー図等を添付して記載。 〕	
6. 農林水産業、食品産業及びたばこ製造業等の産業や社会・経済の発展に対し期待される具体的な波及効果 〔 研究により期待される成果が、標記の産業や社会・経済に及ぼす波及効果について、具体的な例をあげて記載。 〕	

注1：研究課題全体の総括説明として記入して下さい。

2：本資料は、全体でA4版3ページ以内(添付図を含む。)として下さい。

(様式12)

研究の実施体制（全体）

研究課題名（全体）	
（記入例）	
研究代表者 田 夫（独立行政法人 研究所 部 研究室長）	
— に関する多様性の解明と機能解析	
田 夫（独立行政法人 研究所 部 研究室長）	
— に関するゲノム解析	担当： 山 子 （ 研究室主任研究官） 川 郎 （ 研究室研究員）
— に関する機能解析	担当： 谷 一 （ 研究室研究員）
— に関する立体構造の解析	担当： 山 美 （ 研究室研究員）
— の分子生物学的研究	
川 男（ 大学 学部教授）	
— の分子生物学的研究	担当： 本 太 （ 学部助教授）
— の分子生態学的研究	担当： 島 行 （ 学部助手）

- 注1：各研究チームの分担関係が明確になるように記入して下さい。
- 2：未定のものがあったてもかまいませんが、現在想定される研究チームの構成について記入して下さい。
- 3：研究代表者には 印を、各研究チームの研究分担者には 印を付けて下さい。
- 4：他の機関から派遣されている研究者には (他)印を付けるとともに所属を明記下さい。